

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

よく学び 心豊かに たくましく生きる子
すすんで学ぶ子
分かる授業の実施

4月

学力向上目標①

さいたま市学習状況調査の「算数の勉強は好きですか」の質問に対する高学年の肯定的な回答をした割合を前年度より3ポイント向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

校内研修で算数の研究を行うので、研修の時間を活用し、まずは児童の実態を把握し、それを生かした授業づくりを行う。

開始期日

6月以降

具体的な手立て

- ・児童の実態を分析し、学び合う授業の基礎を作りだし、実践を行う。
- ・朝の時間を活用し、「算数タイム」を行う。
- ・基礎学力定着プログラムや学校独自のワークシートを活用する。

2月

本年度の振り返り

さいたま市学習状況調査の「算数の勉強は好きですか」の質問に対する高学年の肯定的な回答をした割合は、5年生も6年生も下がっているという結果だった。内容が難しくなることが1つの要因ではないかと考えられる。また、「算数の授業の内容はよく分かりますか」という質問では、数値自体は高い値であるが、6年生でやや数値が下がっていた。

達成度

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

学校課題研修で算数を中心に研修を行っていることもあり、本年度の振り返りであった「分かる」と「好きになる」ことの両立を目指していくことを柱とする。そこでまずは授業の中でしっかりと自分の考えを一人ひとりがもつことを目指し、そのための手立てを学校として考えていく。導入された1人1台のタブレットを生かすことや実物を使うことを通してイメージしやすく、考えやすい算数授業づくりを行っていく。